

那須赤十字病院 広報誌



プラタナス

No.1

広報誌名称の由来

下の木は、1978年に日本赤十字社100周年を記念してギリシア赤十字より贈られたプラタナス(鈴掛けの木)の子孫となる木です。

かつて医聖とたたえられたギリシアのヒポクラテスが生まれたコス島には、今も樹齢3,000年余りのプラタナス(鈴掛けの木)があり、その大樹の下で多くの師弟たちに医学の講義を行ったと語り伝えられています。

平成24年7月1日、新病院建設に伴い大田原赤十字病院(旧病院)から大切に移設されました。これからも那須赤十字病院と一緒に歩いていけるよう、広報誌名称にいたしました。



目次

- ・院長挨拶 2
- ・マイタウン・マイホスピタル ミニニュース 3
- ・診療科紹介
麻酔科・消化器内科・外科 4~5
- ・紹介状をお持ちの患者さんへ 5
- ・第5回がんの市民公開講座・緩和ケア講演会・
第16回【食品まつり】のご案内 6

基本理念

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜しまず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

院長挨拶



皆様におかれましては、常日頃より当院に対して心温まるご支援を戴き、感謝申し上げます。

当院の前身である大田原赤十字病院は昭和24年7月に開院し、栃木県の県北最大の公的医療機関として、その役割を果たしてきました。しかし、開院して60年以上が経過し、建物の老朽化、狭い敷地面積、駐車場不足、施設の未耐震化などの問題を解決するために、最終的に病院の移転新築が決定されました。そして、新病院が大田原赤十字病院から1.5キロメートル離れた地に約2年間かけて建設されました。昨年7月1日に当院職員、陸上自衛隊、広域消防本部、警察署、近隣の赤十字病院、ボランティアなど、総数800名のご協力によって192名の入院患者さんを約5時間かけて無事に新病院に搬送することが出来ました。そして、新病院の名称を那須赤十字病院として、搬送当日より診療を再開しました。

那須赤十字病院は地上10階建てで、敷地面積が7.1ヘクタールという広大な敷地に約1,500台分の駐車スペースが確保されています。また、当院は免震構造を有し、震度7以上の大地震にも耐えうる構造となっています。当院は、病院の完成後に建物環境総合性能評価機構（CASBE）によって建物総合評価を受け、病院建築物としては全国初のSランク、つまり5つ星の認定を受けました。大変名誉なことであり、新病院のスタートに大きな弾みとなりました。

今年度の目標としては、今まで以上に地域医療に貢献したいと考えています。具体的には地域連携医療の充実、災害拠点病院としての役割強化、救急医療の充実、がん診療の充実、予防医学や生活習慣病対策の強化などに職員と共に邁進致します。新病院となって最初の年ですので、本年は当院にとって期待の年であります。病院職員と共に地域医療への貢献と赤十字病院としての使命を果たすべく努力していく所存ですので、よろしくお願い致します。

平成25年2月
院長 北 島 敏 光

マイタウン・マイホスピタル ミニニュース

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

那須赤十字病院は「地域に根ざした病院」の実現と同時に赤十字のPRにも力を入れています。その一環として2階ローソン隣に「もっとクロスルーム」を設置し、赤十字活動の紹介をしております。

もっとクロスルーム

もっとクロスルーム
(2階ローソン隣、上島珈琲店向かい)



12月は「海外たすけあい」の紹介をしました。



動画も見られます。

日本赤十字社看護師養成の紹介(戦後)、
救護服の展示



◇救護看護師像の設置◇

看護への思いを後世に伝えようと、職員や看護部OGより寄付を募り、大田原市にゆかりのある彫刻家の方に制作を依頼しました。

医療セットのバックと水筒を背負った救護看護師の姿がモチーフとなっています。



産経新聞 地域版にも掲載されました！

地域に根ざした病院

駐車場のサインに地元のゆるキャラ採用

「ゆるキャラグランプリ2012」で
13位の「与一くん」も

駐車場



保健医療圏の木・花を
病棟名称の一部に

◇病棟名称に…



ナースステーション

	西病棟	東病棟
8階	リンドウ	イチヨウ
7階	アヤメ	カタクリ
6階	ツツジ	ナツツバキ
5階	ヤマユリ	トチノキ
4階	サクラ	コブシ
3階	トウガラシ	

「那須赤十字病院ではペインクリニック外来を行っています。」



第一麻酔科部長 柿沼 宏幸

診療科

「痛み」というものは、人間にとって非常に苦痛に感じるもので、それによって日常生活に支障をきたしたり、精神的にも負担になったりするものです。その痛みを軽減するためにはもちろん痛みの原因を治すことが重要ですが、治るまでに時間がかかったり、普通の鎮痛薬では痛みが取りきれない事がしばしばあります。

ペインクリニック外来は、そのような痛みに対して、内服薬や神経ブロックと呼ばれる注射、近赤外線照射治療器などを用いて軽減していく外来です。また、「神経に注射なんて…」と恐怖感を感じる方も多いと思いますが、神経に直接麻酔薬を使用するのは稀で、ほとんどのブロックは安全性が高いものです。もちろん、聞き慣れない治療かと思いますので、ブロック注射が

必要な場合は、よく説明し、納得していただいてから行うので安心してください。例えば腰のヘルニアによる腰痛、片頭痛、带状疱疹のあとの神経痛や肩の痛みなど、頑固で長引く痛みや癌などの疼痛、頸椎症などの脊柱管狭窄による手や足の痺れ、血流障害による冷感などでつらい思いをされている場合は、是非一度、ご相談ください。

麻酔科は現在、北島院長ほか、麻酔科専門医を持つ常勤3名と非常勤数名で年間約2500件以上の手術麻酔を行っており、24時間365日、緊急手術にも対応しております。

これからも、県北の医療の向上に努めていきたいと考えておりますので、宜しく願い申し上げます。

“最近どうも食欲がない、おなかの調子が悪い、胸やけがする、お酒が大好きだけど肝臓が心配”と思ったら消化器内科へどうぞ



消化器内科部長 佐藤 隆

消化器内科は、口から胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門までの消化管と肝臓・胆嚢を含む胆道系・膵臓・脾臓などの各臓器の病気や機能障害を診断・治療する科で、身体の中の多岐にわたる領域を扱います。現在、当院の消化器内科は常勤医3名と大学からの非常勤医で診療にあたっております。診断部は内視鏡センターおよび放射線診断部からなり、消化器内科と消化器外科チーム・放射線科専門医と協力して診断から治療まで行います。具体的には内視鏡検査（上部内視鏡および大腸内視鏡）による疾患診断、胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの消化管出血に対する内視鏡的止血術などの治療、ポリープ切除や早期がんの内視鏡的治療（粘膜切除・粘膜下層剥離術）、食道・胃静脈瘤に対する静脈瘤結紮術（EVL）や硬化療法（EIS）、バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（B-RTO）などの治療、胆管胆石や閉塞性黄疸に対する内視鏡的十二指腸乳頭切開術（EPT）、内視鏡的ドレナージ・ステント留置などの治

療、肝細胞がんのカテーテルによる塞栓術やラジオ波焼灼術などを行います。また内科的疾患では肝硬変症の内科的治療やインターフェロン治療をはじめとするウイルス肝炎の最新治療、潰瘍性大腸炎などの炎症性疾患の治療や膵がんや胆道系の悪性腫瘍（胆管がん、胆のうがん）に対する化学療法など行います。消化器は毎日の人間生活を営む上での大切な臓器で、特に食事と密接な関係があります。どうも食欲がない、お腹の調子が悪い、お酒が大好きで肝臓が心配だなど気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談にお越しください。今後も安全かつ最新、最適な治療を提供させていただけるようスタッフ一同日々研鑽を積んでおります。また地域の先生方とも密な連携をはかり、より一層信頼される医療を目指しています。那須赤十字病院では、消化器病棟も含め医療環境面でも充実しました。消化器疾患について当科にご相談下さい。

紹介



「体に負担の少ない治療」から大きな癌の手術まで、幅広い分野の治療に対応しています。



第四外科部長 青木 真彦

当院外科では、消化器と乳腺の疾患に対して、毎年700件を超える手術を行っております。ソケイヘルニア（脱腸）や痔など良性疾患から、癌などの悪性疾患、交通事故をはじめとする外傷など幅広い分野の治療を行っております。癌の治療では、エビデンスに基づき、安全性・根治性を考慮しながら、なるべく体に負担の少ない治療を提供できるよう努めております。早期の食道・胃・大腸癌に対しては、いわゆる“胃カメラや大腸カメラでとる”内視鏡的切除（EMR、ESD）を第一の選択肢として念頭におき、カメラでとれない場合でも“傷の小さな”腹腔鏡手術も考慮しております。“傷の小さな”手術のメリットとして、術後の疼痛が少ない、術後の回復が早い、美容面で傷が目立ちにくいなどが挙げられます。良性疾患でも、胆石、虫垂炎ではほぼ90%が腹腔鏡手術で行われております。また最近では、早期の胃癌、早期・進行大腸癌でも腹腔鏡手術をどんどん進めており、2012年の腹部手術442件のうち腹腔鏡手術は121件と「体に負担の少ない治療」の割合は年々増加傾向にあります。さらに食道癌や膵臓癌、肝癌、胆道癌などの大きな手術も積極的に取り組むほか、進行度の高い消化器癌全般に対しては、術前化学療法による切除率の向上や、術後補助化学療法による再発率の軽減を図っております。乳癌の領域では、乳房温存術に加え、形成外科との協力のもとでの乳房再建も積極的に行うなど、切除後の整容性も考えており、昨年の乳癌の乳房切除症例は70

件と増加してきています。外科の中には、院内の“栄養サポートチーム（NST）”の委員長が在籍しており、手術前後の栄養療法の実施により術後の肺炎や傷・腹腔内の感染など合併症のリスクを下げるべく検討を行っております。さらに院内の感染症対策の窓口である“感染対策チーム（ICT）”、癌などの症状緩和を推進する“緩和医療チーム”のメンバーもおり、入院した患者さんが安心して治療に臨めるよう外科医局員一丸となって対応いたします。病院リニューアルに加え、外科スタッフも増員しました。さらに良質で、きめ細やかな、そして様々なニーズに合った医療を提供できるよう努力いたしますので宜しくお願いします。



図1. 腹腔鏡補助下胃全摘術の創部写真



図2. 腹腔鏡下幽門側胃切除術の創部写真

図1、2ともに臍の創部（約4cm）より切除した胃を抽出します。その他の傷は5mmか1cmの目立たない傷です。

紹介状をお持ちの患者さんへ

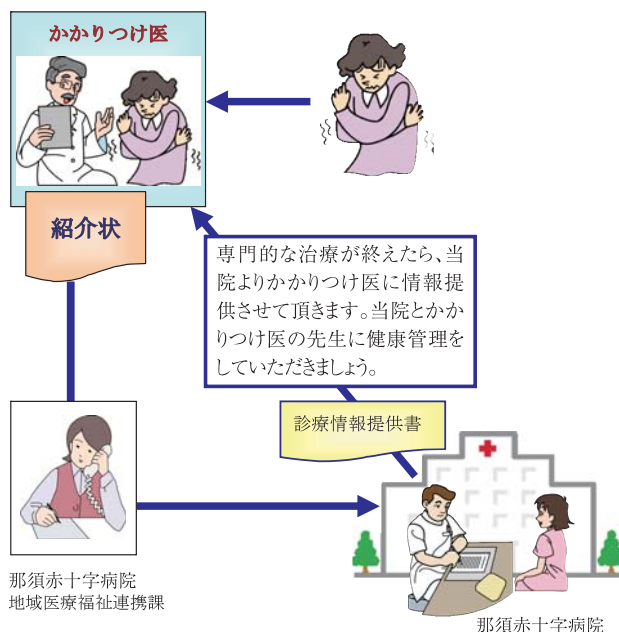
かかりつけの先生や、他の病院の先生から当院宛に紹介をされた場合、早めに地域医療福祉連携課にご連絡の上、ご予約ください。

● 連絡をするメリット

- ・電話にて専門医の予約を取ることができます（予約がない場合、初診担当医が診療にあたるため、希望される専門医の診療が受けられない場合があります）
- ・直接窓口で紹介状を持って来院するより、待ち時間が少なく済みます。

連絡先

那須赤十字病院 地域医療福祉連携課
TEL 0287-23-9777（直通）



那須赤十字病院 第5回がんの市民公開講座 「がんになっても 元気で過ごせる」

日時 平成25年2月16日(土)14:00~15:30
会場 那須赤十字病院 マイタウンホール

基調講演 **近藤明美 先生**
「**がんと就労 ～がんとともに働く～**」



一般社団法人CSRプロジェクト副代表理事
近藤社会保険労務士事務所代表
特定社会保険労務士
キャリアカウンセラー

体験談 がん患者と家族の会「ピアサポート那須」の会員
質疑応答
定員 150名 **入場無料**

申込・
問合せ先 **那須赤十字病院**
がん診療対策推進室
☎ 0287-23-1122(内線2293)

共催:那須赤十字病院
がん患者と家族の会「ピアサポート那須」
後援:那須郡市医師会

那須赤十字病院緩和ケア講演会 緩和ケアの目指すもの ～ケアタウン小平の取り組み～

日時 平成25年3月7日(木)
18:00~20:00

会場 那須赤十字病院 マイタウンホール
講師 山崎章郎 先生

1975年千葉大学医学部卒業
1984年より緩和などの終末期医療に取り組む
1991年から聖ヨハネ会桜町病院ホスピス科部長
2005年からケアタウン小平の開設に参加
ケアタウン小平クリニック院長
著書「病院で死ぬということ」
「続・病院で死ぬということ」
「僕のホスピス1200日」など多数

対象 **医療従事者**
定員 150名

入場無料



申込・
問合せ先 **那須赤十字病院**
がん診療対策推進室
☎ 0287-23-1122(内線2293)

主催:那須赤十字病院 後援:那須郡市医師会

第16回【食品まつり】のご案内 生活習慣病予防【病院食品まつり】 健康増進-メタボリックシンドローム対策

- 1.開催日時 平成25年3月16日(土曜日)
10時~14時
- 2.開催場所 マイタウンホール
- 3.対象 患者・家族・地域住民の皆様
- 4.内容 「生活習慣病」との関わりの深い食事について、食品の展示や試食などを通してさまざまな情報から正しい選択をするお手伝いや、ご自身やご家族の健康を考える機会を提供いたします。

糖尿病予防コーナー、メタボリック対策、骨粗鬆症予防コーナー、小児生活習慣病予防コーナーなどを設けて、血圧、体脂肪、骨密度、SMBG(糖尿病の自己血糖測定)等の測定を行います。

特定健診・保健指導の説明や栄養・健康相談も実施します。

- 7.参加料 無料
- 8.問い合わせ 那須赤十字病院 栄養課
☎0287-23-1122(代表)
もしくは
☎0287-24-0714(栄養課直通)

編集後記

平成24年7月の移転から半年が経ち、やっと広報誌を発行することができました。

地域の方に分かり易く、職員に興味を持って読んでもらえる誌面を目指し、気合いを入れて頑張りますのでよろしくをお願いします!

総務課 秋元

那須赤十字病院広報誌プラタナス NO.1

発行日 2013年2月

発行者 那須赤十字病院

〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

http://www.nasu.jrc.or.jp

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷